

なぜ今名人発掘か(問題提起)

中山間部では、少子高齢化に悩みながら、地域が元気になれる(地域活性の)動きが始まっている。さて、地域活性を進める上で、「地元の間人がどれだけ地域に愛着があるか」は大切な要素である。私たちは、山内の良いところをいくつか挙げられるだろう。案外知らない、山内の良さ。緑あふれる四季折々の自然、歴史、文化・・・そして忘れてはならないのが、人の知恵などの地域資源。見渡しただけでも、特技や知恵を持った人が多くいることに着目し、山内レベルでの“名人”と名づけ、地域の人財の掘り起こしをしようとした。特に今回は、知恵の宝庫である高齢者世代を中心に聞き取りし、高齢者が活躍できる場所や機会の仕組みづくり・高齢者を受け入れるまちづくりのステップとして、名人発掘をすることとなった。

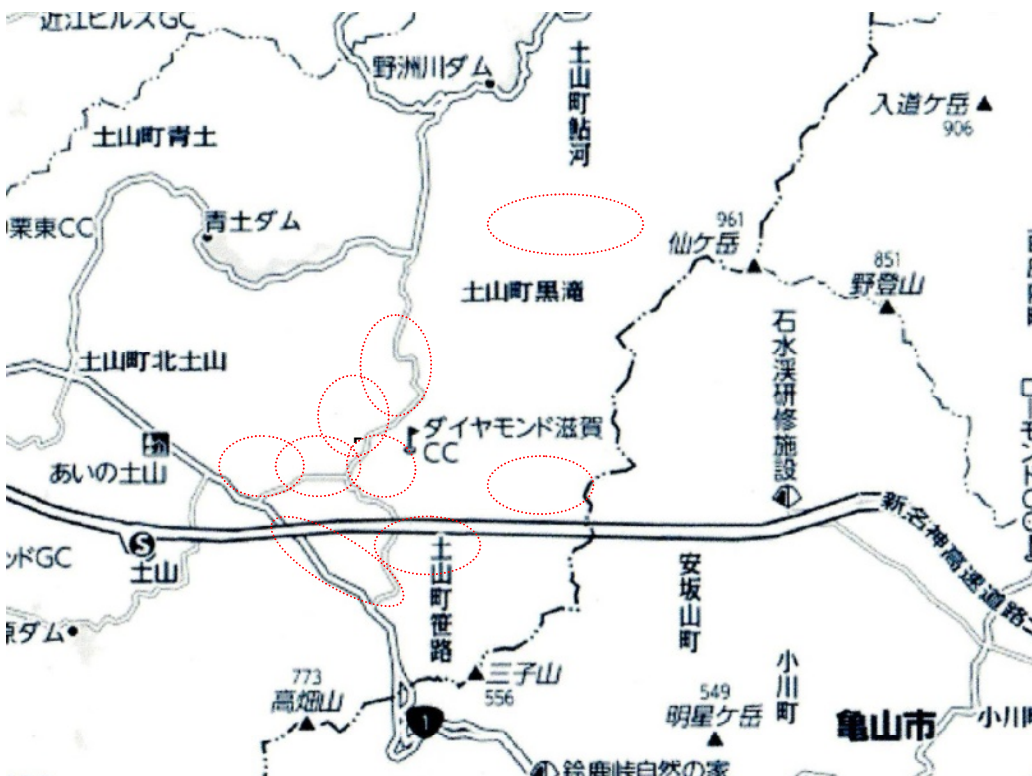
山内名人発掘事業のめざすもの

発掘することが目標なのではなく、発掘された人財を磨き、地域の魅力を高め、山内の「誇り」を具体化し、地域内だけでなく、地域外からも認められるように取り組んでいくこと、つまり価値ある「山内ブランドづくり」をめざした。

山内の自然環境と集落

山内は、滋賀県の東南隅、甲賀市の東端にある山間の地区、琵琶湖に注ぐ野洲川の源流地域である。東南は鈴鹿山脈の稜線を境にして、三重県亀山市に接し、東海道47番目と48番目の宿場町である土山宿と坂下(三重県亀山市関町)宿の中間にあったことから、宿場として経済的にも文化的とも三重県との交流が盛んであったといわれる。しかし、宿場の境であった鈴鹿峠の地勢は険しく箱根につぐ難所として知られていた。また、東海道を往来する人々が、この地域の天候の変化を「坂は照る照る鈴鹿は曇る あいの土山雨が降る」と唄った鈴鹿馬子唄は有名である。国指定の大日如来坐像、県指定の花笠太鼓踊り(山女原・黒川・黒滝)、登録有形文化財の火頭古神社本殿があり、民意伝承できる人がいてくれる。

山内地区は、人口1046人、323世帯、20~40戸の世帯からなる9つの集落で成り立っている。鈴鹿峠へ続く豊かな里山に囲まれており、地区の中心には琵琶湖に注ぐ野洲川が流れている。こうした里山や水辺環境は、集落を基本とした山内の人に保全保護され、そこでとれる米や農作物などの恵み、山々の木から、工芸品や郷土料理など豊かな山内の生活文化が形成されている。



- 黒滝
- 上の平
(かみのひら)
- 中の組
- 黒川市場
- 川西
- 猪鼻
- (いのはな)
- 山中
- 笹路
- (そそろ)
- 山女原
- (あけびはら)

平成23年度の取り組み報告

【山内の「誇り」である人財の分野わけ】人財を次の5つに分野わけした。

生業	農業・林業、水産業、生産活動全般
文化・芸術・	木工、歴史、芸術的な趣味、音楽的なもの
生活・活動	趣味、暮らし、食事、手芸、生活上の知恵
祭事	氏子の祭り
自然・環境	川、山、環境保全

【名人の聞き取り調査の体制づくり】

部会の班員：山内自治振興会運営委員の中で、福祉や教育に関わった経験がある人や資源の掘り起こしに関心のある人と振興会の幹部の他有志、アドバイザーの金井萬造氏（立命館大学教授）で構成された。

【実施方法】

発掘の方法として、メンバーだけの意見では偏りのある選出になることを避けるために、2段階方式で聞き取り調査を行った。

1段階目：9つの地区（字）から有識者を選出し、有識者より地区にすむ名人の名前を聞き取る（7月）

2段階目：有識者より選出された名人さんに聞き取りを行う（9月～12月）

経過

日時	班会議	内容
6/8	第1回 班会議	名人発掘事業の目的、目標の確認
7/13	第2回 班会議	調査の体制、すすめ方について (聞き取り項目、注意すべきところ確認)
7月～8月	有識者への聞き取り調査	班員3, 4名で有識者への聞き取りの模擬を実際に行ったあと、9つの地区の有識者への聞き取り調査
9/5	第3回 班会議	有識者から聞いた名人さんのリストアップ マップにジャンル別に色分けして、プロットした「山内の名人さん」の特徴を意見交換
9月～12月	名人さんへの聞き取り調査	名人さんへの聞き取り(班員が1～2人のペアで)
10/24	女性運営委員との合同会議	女性の視点から見た、山内の名人発掘について意見交換
11/25	第4回 班会議	リストアップされた名人さん確認と聞き取り調査から学んだことについての意見交換、今後の展開
3/24	第5回 班会議	成果物（ファイリング、ちらし）確認、事業評価

班会議の前後には、打ち合わせ会議を行った。（8回）

聞き取り調査項目

	1段階目 有識者への聞き取り調査(15名)	2段階目 名人さんへの聞き取り調査(33名)
手順	事業目的、事業の効果、事業の展開を説明し、事前にお願ひし文書を手渡す	事業目的、事業の効果、事業の展開を説明、有識者からの推薦があったことを伝え、協力を依頼する。
聞き取り内容	字内の特技や技術を持った人の推薦 名人の内容、氏名	得意の知識、技術、知恵の聞き取り ・具体的に聞く・作品を見せていただく・写真撮影・エピソード
注意したこと	字の人脈を聞き、名人さんへの配慮など 有識者さんへの敬意	個人情報や作品を撮影することの許可 名人さんへの敬意

字別分野別分類

	生業	文化・ 工芸・芸術	料理・ くらし	祭事	自然・ 環境・山	地区、名人さんの特徴
黒滝						山の案内人
上の平						農耕、化石、料理、民意伝承
中の組						川、カメラマン、祭事の伝承
黒川市場						木工、祭事の伝承、手芸
川西						祭事の伝承、手工芸、
猪鼻						東海道・歴史の伝承、川、自然
山中						東海道・歴史の伝承、カメラマン、山の案内人
笹路						山の案内人
山女原						木工、手工芸、祭事の伝承

【地図にプロット(落とし込み)して見つかったこと】

地図にプロットして、客観的に山内に住む人財について意見交換した。

- ・山内には、文化・歴史的な人が多い
- ・何でも自分たちで作ろうとしている(家庭料理や工芸)
- ・9つの地域で平均に名人がいて、地域を案内してくれる人がいる

【名人聞き取り調査をして得られたこと・メンバーの意見】

- ・知らなかった山内を教えていただけました。
- ・地域の方と自治振興会メンバーがコミュニケーションを取れて、振興会事業についての声を聞けた
- ・教えてくださる名人さんの顔が輝いていることに気付いたし、改めて敬意を持った
- ・山内を見直した
- ・名人さんの持てる技や技能、知恵を生かしたいと思った
- ・集落間のことを分かり合えた
- ・聞き取りが楽しかった

【平成23年度の成果】

地元住民は、自分達のすむところを否定的に捉えてしまい、そこで口にする「なにもないところ」。

しかし、今回の名人発掘事業を通じて、山内にはいろいろな生活の知恵や技術、豊かな自然や、云われ、多様な生活文化などを教えてくれる人財(宝もの)があることを知った

例えば、川原のヨシで作るヨシちまきについて聞いたところ、昔の野上り(田植えが終わり一段落したときに作って、神さんにお供えし、豊作を祈る)の時期にしたものや」と60年以上前のことを話してくださいました。また、花笠太鼓祭りについても、豊作を祈る雨ごいの祭りであったこと、山の話を書いたら、昔交流があった三重県の話、もともとは林業が盛んで木工をされていることなど、暮らしと生業の深いかわりを知ることができた。そして、このあたりまえの営みと歴史が、マップ化したり、瓦版、ファイリングなど可視化することで、地域の独自性が浮き彫りになりました。自分たちで、やったことをまとめることは、地域の資源を見つめなおし、価値を発見するための目線の開発にもつながったと思われます。そして、これが新しい山内の街づくりの基盤になると考える

山内のような高齢化が進む中産間地帯はこどもの教育問題、医療の確保、就労先など大変である。でもここには豊かな自然のほか、人財とあることに気付いた。発掘だけでは意味がないことは初めに確認したが、どのようにこの資源を活かし、価値としていくかが今後の課題となる。待っていることを美德としている価値観の見直しを図り、地域ならではの(自然・産業・産物・歴史・文化・食事・祭事・伝えてくれる人財)、他のところにはないレベルと価値を生み出

し、精神的な効果のとどまらず経済的な効果も生み出せるよう、次年度以降の展開を考えたいと思う。

【総評】

名人発掘事業 アドバイザーよりコメント 立命館大学 経済学部教授 金井萬造
 名人発掘事業に参加してのコメントは次の5点である

山内は交通の立地条件や自然に恵まれているが、豊かな人財の資源を発掘して地域再生をめざす大きな力を持っている

人財資源は豊かで、自然環境を生かした生業・生活・活動面や文化・工芸の創造面で可能性が大きいことが判明した。これらをどう具体的に生かすかが課題である。

人財による地域再生と共に次世代への継承の取り組みが自治振興会の課題として提起された。

名人さん個人の保有する価値を地域の経済・生活・活動の豊かさ再生に貢献していく具体的な取り組みが事業化の課題となっている。

人財資源とその他の地域資源を結合した総合化によって山内地区事業として始動されることを期待したい。



定例班会議



女子会(女性の知恵を拝借)



名人の発掘活動は自治体の地域での活躍(取材)人への、人財(名人)の発掘を促した。①発掘を促した名人への発掘のたのめ(謝意)カードを作成しました。②名人への謝意カードを作成しました。(※お返しは不要です)
 ③発掘した名人さんをジャンル別に分類し、山内の地図に貼りました。④個別ファイルを作成しました。
 平成24年度の課題 (名人さんを中心としたイベント)を計画し、地域の人が参加するプログラムを開発していきます。
 地域の人材だけでなく、地域外から来た人への関心も持っています。
 名人の発掘について「自治振興会」で実施し、1年に1度、見直しを行います。山内自治センターに置いてあります。
 「あなただけの(名)」のように思われる方、まだまだ、山内にはキラリ輝く人が入るはず! 発掘を促す、名人への発掘は随分受け付けております。
 【お問い合わせ・ご質問】(電話) 山内地域市民センター 68-00811 山内自治振興会 地域福祉部 名人発掘事業部